

【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2024年 11月 3日
留学先大学	ミーコラス・ロメリス大学（日本語名） Mykolo Romerio universitetas（現地言語名）
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名：人間社会学部 現地言語での名称：Faculty of Human Social Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2024年9月～2025年6月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
学年 ※出発時の本学での学年	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

明治のホームページに載っている先輩方の留学報告書を読みました。また、インターネットでもリトアニアでの生活について書いている記事を見つけることができるのでそれらの情報を使って準備を進めました。

II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：National VISA（D）	申請先：MIGRIS、VFS.Global
ビザ取得所要日数：25日 （申請してから何日/何週間要したか）	ビザ取得費用：約2万円
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？ また、どのように手配しましたか？	
パスポート、パスポートのカラーコピー、留学先から送られてくる Mediation letter、入学許可証、英文残高証明書（自分名義の口座であることが望ましい。）、証明写真（背景は白）、MIGRIS で作成したビザ申請書のコピー	
2. 具体的な申し込み手順を教えてください。	
1. MIGRIS というリトアニア内務省移民局のサイトからビザ申請をするためにアカウントを作成。 2. MIGRIS 上でビザ申請書を記入。この段階で、パスポートのコピー、Mediation letter number、入学許可証、英文残高証明書、海外旅行保険のデータをアップロードする必要がある。 3. VFS Application Center で指紋と写真を登録するための予約を取る。（MIGRIS で申請書類を作成していないと予約をとることができないので注意。） 4. ビザセンターで指紋と写真登録を行う。このとき、MIGRIS にアップロードした書類も提出する。2日ほどでリトアニア移民局から面接についてのメールが直接送られてくるので、Microsoft Teams を利用して面接を行う。 5. 無事面接を終えるとリトアニア移民局のほうでビザ申請における手続きが再開される。審査結果がビザセンターに届くと結果の受け取りについてメールが届くので、そのメールに返信する形でビザセンターを訪問する日時を予約する。 6. ビザセンターにビザを受け取りに行った際にもう一度指紋登録をし、ビザを受け取る。	

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか？

駐日リトアニア大使館ではなく、リトアニア本国にいる移民局の方と Microsoft Teams というオンラインミーティングシステムを利用して面接がありました。面接はメールできた案内だと 15 分程度とのことでしたが、約 8 分で終了しました。昨年度まで面接はなかったようなので、覚えている範囲で質問内容を書いておきます。

【質問内容】

- ・パスポートに書いてあるような基本情報（名前、生年月日など）
- ・何を目的にリトアニアに 1 年間滞在するのか。
- ・日本の大学ではどのようなことを勉強しているのか。
- ・東欧に留学に行きたいならば他の東欧諸国でもいいはずなのに、なぜリトアニアを選んだのか。

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

昨年度までの留学報告書にはビザの取得に際して面接が必要だという情報がなかったため、事前情報がなく非常に戸惑いました。外務省や駐日リトアニア大使館に電話やメールで問い合わせを行ったところ、学生に対してこれまで面接を行った例を把握していないとのことでした。駐日リトアニア大使館にはビザに関する権限はまったくないとのことだったのであくまでアドバイスになってしまうとのことでしたが、面接についての相談にもものっていただけたのでありがたかったです。

面接については、インタビューする側はカメラオフかつリトアニア訛りが強めの英語での面接だったので非常にやりずらかった記憶があります。また、質問内容も聞かれると予想していた内容とは異なるものだったので緊張しました。

また、これまでの留学報告書に書いてあるよりもビザの取得所要日数がかかったので余裕をもって早めの行動を心掛けるべきだと思います。

II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等）。

リトアニアでの支払いは基本的にクレジットカード決済が可能なので現金の用意は必要最低限でよいと思います。しかし、クレジットカードのブランドは VISA か Mastercard しか使えないところがほとんどなので注意する必要があります。

また、SIM は大学側がオリエンテーション期間中希望者に配布しておりその SIM にお金をチャージして使用するという方法もあるようです。この場合リトアニアで使える電話番号を取得できるので、現地のスーパーや薬局で会員カードを作るときなどに便利ですが、リトアニア国内の SIM になるのでリトアニア以外に旅行に行くことが多いのであればヨーロッパ全域で使える e-sim を購入する方が利便性が高いのかなと思います。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ANA、ルフトハンザ航空				
航空券手配方法	※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	ヴィリニユス国際空港 (VNO)	現地到着時刻	2024 年 8 月 24 日 13:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (Bolt)
移動の所要時間	約 30 分				
<p>空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等</p> <p>空港の前に止まっているタクシーはぼったくりの被害にあってしまう可能性があるため利用するのは避けるべきだと思います。タクシーで移動する場合は bolt というアプリから利用するのがおすすめです。時間によって値段が違いますが、私の場合は空港から大学近くのホテルまで 16€でした。</p> <p>また、空港からバスを使っても大学方面に移動することができます。しかし、荷物が多いことや初日でバスの利用方法にも慣れていないと思いますので推奨しません。</p>					
大学到着日	8 月 24 日 15 時頃				

2. 住居について		
到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方：9月1日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input checked="" type="checkbox"/> その他（大学ホームページからの紹介）	
住居の申込み手順	アパートのホームページ上で入居の契約を行う。	
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？		
大学の寮に入る予定でしたがトラブルがあり入ることができなかつたため、渡航前に大学がホームページ上で紹介していた SHED-Go Living というアパートに住んでいます。リトアニアに到着してからアパートに入居するまでは大学近くのホテルに滞在していました。		
3. 留学先でのオリエンテーションについて		
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった	
日程	8月25日～31日	
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加	
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）	
内容の様子は？	大学のキャンパスツアー、他の留学生との交流会 など	
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった	
授業開始日	9月1日から	
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて		
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？		
なし		
2. その他現地でした手続きは（健康診断、予防接種等）？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？		
なし		
3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？		
していません		
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？		
していません		

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

- 出発前に（5月20日頃）
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）
 到着後に（ ）月（ ）日頃
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（ ）

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

- あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

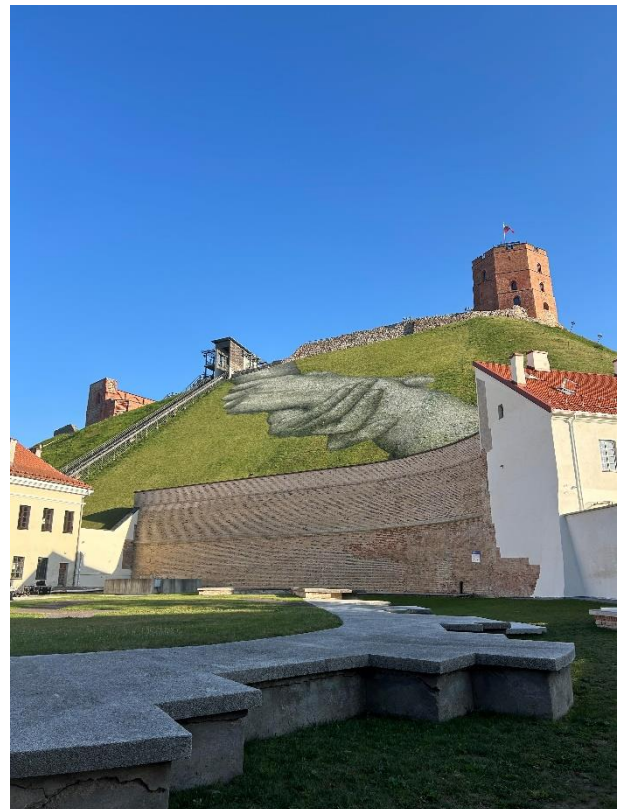
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

大学からメールで案内があるので、案内があり次第履修登録専用のページで登録します。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

履修修正期間中に授業の変更、追加をすることができます。

開講時間が被っているといった理由でとることができなかった授業を除けば、基本的に希望通りの授業をとることができました。



Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5:00							
6:00							
7:00							
8:00							
9:00			授業				
10:00			授業	課題	課題		
11:00			授業	課題	課題		
12:00	授業	授業	授業				
13:00	授業	授業					
14:00	授業	授業	授業	課題			
15:00		授業	授業				
16:00		授業	授業		課題		
17:00		授業	授業		課題		
18:00					課題		
19:00							
20:00		課題					
21:00		課題	課題				
22:00	平日は余裕があれば、授業後に地元のボランティア活動に参加することもあります。					土日は週によりますが、旅行に行ったり博物館を訪れています。課題が終わらないときはアパートにこもって勉強に勤しんでいます。	
23:00							
24:00							

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

ミーコラス・ロメリス大学はヴィリニユスの中心街からは少し離れていますが、自然が豊かな大学です。大学にはヨーロッパ、中東、アジア、アフリカなど世界各地から来た留学生がおり国際色豊かです。多くの留学生向け授業は英語で開講されているため、リトアニア語ができないことがハンデになる環境ではありません。正直、教授も英語が第一言語ではなくネイティブのような流暢な英語を話すわけではないので英語力に不安があっても授業についていくことができます。しかし、プレゼンテーションやレポートなど重い課題が頻繁に出る授業を取っているのが大変です。

生活についてですが、物価は日本と同じくらいかなと感じています。東欧ということもあり物価がとても安いことを想像していましたが、ヨーロッパのほかの国に比べれば安いといった感じです。しかし、交通費は日本に比べると3か月2700円ほどでバスが乗り放題なのでとても安いです。ビリニユスは基本的にバスでどこでも行くことができるので、気軽におでかけすることができます。とても良い環境であると感じています。大学を一步出ると若い世代の方以外は英語を話せる人も少なくスーパーにも英語表記がまったくないので慣れるまでは翻訳アプリだよりの生活です。しかし、スーパーや地元のパン屋さんでリトアニア語しか話すことができない店員さんが英語が分からないながらもコミュニケーションを取ろうとしてくれるなど、優しい人にもたくさん出会うことができます。また、アジア系の人に大学外で会うことはほとんどありません。そのため、地元の人からするとアジア系というのは非常に珍しいようで話しかけられることも多く貴重な経験をする事ができていると思います。

バスの電光掲示板にウクライナを支援する言葉が表示されていたり、街中でもウクライナの国旗を様々な場所で見ることができます。そのうえ、ウクライナからの避難民が多く働いているので、戦争を日本に比べ身近に感じるということもリトアニアでの生活における特徴の一つかもしれません。

私は大学寮に住んでいるわけではないということも影響して留学生以外のコミュニティと関わる機会も多く、結果的にはよりいろいろな人と関わる生活をおくっています。私が住んでいる SHED Co-Living は大学からバスで15分ほどの位置にあります。周囲にはヴィリニユスで最大の病院街があり、人通りも多いので安全です。大学の寮と比べると家賃は高いですが、清潔でプライバシーが保証されており大学以外の人とも交流を深めることができているので私はここで生活できてよかったと思っています。

リトアニアに留学してから2か月と少ししか経っていませんが、リトアニアは自然環境も人もとても素敵な国だと実感しています。大学での勉強も日本にいたときにはなかった視点から学びを深めることができているので、残りの留学期間も留学前の志を忘れることなく過ごしていきたいと思っています。